



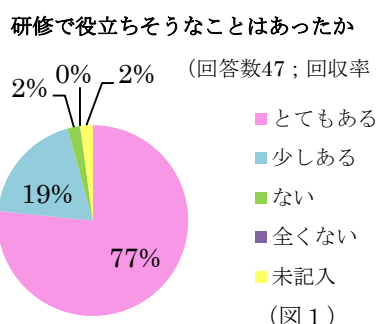
## 地域連携室 “あざれあ” 便り 32号

桜の季節となりました。日頃より地域連携室「あざれあ」の活動に対しご理解、ご協力いただき厚くお礼申し上げます。平成27年度も引き続きよろしくお願いたします。



さて今月は、3月に開催した「開業医が知って得する在宅診療報酬の知識」研修会と、「市民公開講座」についてご報告します。

### 「開業医が知って得する在宅診療報酬の知識」研修会



平成27年3月12日(木)、2年間の準備期間を経て医師や医療事務等を対象とした在宅診療報酬の研修会を開催しました。当日は35医療機関、85名の参加者がありました。(うち医師13名)また1医療機関から最大9名の参加があり、在宅診療報酬への関心の高さがうかがえました。



研修の成果としては、図1の通り、研修に対する満足度が非常に高く、96%が「研修で役立ちそうなことがある」としています。次回は医療依存度の高い方に対する在宅診療報酬研修会を開催したいと考えています。どうぞお楽しみに！

### 「市民公開講座」

平成27年3月14日(土)には広島県緩和ケア支援センター長本家氏、広島赤十字・

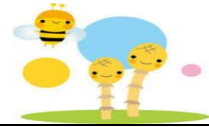


原爆病院呼吸器科部長有田氏をお迎えし、「自分らしく生きるために 思いを伝える～ACPのすすめ～」と題して市民公開講座を開催しました。第1部は中国新聞平井氏の進行による本家氏、有田氏の対談。第2部は平成26年度ACPモデル事業の普及活動報告とシンポジストのディスカッションという構成でした。

市民からは、「自分らしく生きるために、自分が受けた医療やケアについて考えるきっかけになった。」

「これから本気で考えなければとつくづく思う。」「医師や子ども達に希望を伝えておこうと思う。」という前向きな意見が出た反面。「医師には思いを伝えにくい。」「医師はパソコンばかり見ている患者の話を聞いてくれない。」という意見もありました。また医師からは「どのタイミングで、どのような患者に、どのようにACPの話をしたら良いのかわからない。」「もっと具体的に広めてほしい。」という意見も出されています。

ACPが医療者と患者・家族をつなぐコミュニケーションツールとして根付き、医療・ケアの選択において「私の心づもり」を文書に残すことが当たり前になる日が訪れるまでには、もうしばらく時間が必要なようです。医療の新たな文化を構築するために、ACPは医療者と患者・家族をつなぐ扉を開く「鍵」といえるのかもしれませんが。



平成27年3/1から3/31までの相談実績 (相談件数：16)

	月日	相談元	相談内容	支援経過・結果
1	3/1	MSW (市内)	CVポート対応できる他市の訪問看護・居宅の紹介依頼	・他市居宅に情報提供を求め、MSWに伝えると共に妻に対し練習用のCVポート貸し出し手配
2	3/1	地域包括	乳がん患者の在宅支援について	・担当者と訪問し情報収集 ・在宅医の検討
3	3/1	MSW (市内)	退院前カンファレンス出席依頼	・現状把握及び今後の予測、家族の意向、ケアプランを確認し助言
4	3/1	MSW (市外)	脳室拡大が見られる小児の受け入れ可能な訪問看護事業所の紹介	・受け入れ可能な訪問看護事業所の紹介
5	3/2	居宅	がん転移の疑いのある患者の退院支援について	・退院前カンファ調整及びサービス提供事業所調整等
6	3/3	訪問看護	退院後連携が必要な医療機関に訪問看護師が相談した場合の「再診料」の算定について	・診療報酬委員会に相談→国保連に確認→訪看の事業所等に対する再診料の算定はできない(Q&A集)
7	3/6	地域包括	乳がん未治療患者の支援	・訪看と訪問し本人の意向確認
8	3/6	訪問看護	ターミナルケア加算について	・資料を添付し回答
9	3/6	MSW (市内)	A医師が往診可能か確認依頼	・A医師に確認し了承を得る→MSWに連絡
10	3/20	訪問看護	在宅医の紹介依頼	複数の医療機関を紹介
11	3/20	居宅	排菌のない結核治療中患者の施設入所について	・保健所感染症担当保健師に確認→審査会時専門医に施設入所に対する意見を求める事を提案される
12	3/23	障害	統合失調症で多発の褥瘡治療を要する患者支援について	・訪問し治療を勧めるも拒否→訪看、包括、障害で継続支援
13	3/24	居宅	終末期を意識した在宅医の調整について	・主治医への往診確認助言及び近隣の医師の紹介
14	3/24	訪問看護	土曜日に急遽点滴が必要になった場合の対応について	・薬局等に確認→小分けが不可能なため、医院に訪看から依頼
15	3/25	訪問看護	在宅医紹介依頼	・複数の医療機関を紹介
16	3/26	訪問看護	特定医療費管理表の作成について	・診療報酬委員が作成した資料を持参して説明

※ 今月はMSWと訪問看護からの相談で半数以上を占めています。支援内容としては、在宅医に関することが5件、診療報酬に関することが2件ありました。

地域資源マップ完成

先生方にご協力をいただきました地域資源マップが完成しました。今年度から冊子と共にWEBでも公開します。今後も充実した内容になるよう、改良を加えたいと考えます。

